

聖書キリスト教会 伊勢崎聖書キリスト教会

祈りの課題

- 1 教会に属している方々が、御言葉と賛美と祈りの中で、主に従い愛の人となるように。
- 2 教会に属している方々の健康と安全、平安が、主の御手により守られるように。
- 3 礼拝(日曜・金曜)を通して主の大いなる御業を見ることができるよう。
- 4 新たな礼拝堂が与えられるように。

お知らせ(報告)

- * 本日は、はじめて来られた方々を心から歓迎いたします。
- * 礼拝は教会とオンラインで同時に行われています。
- * 本日は礼拝後にユースクラス・分かち合いがあります。

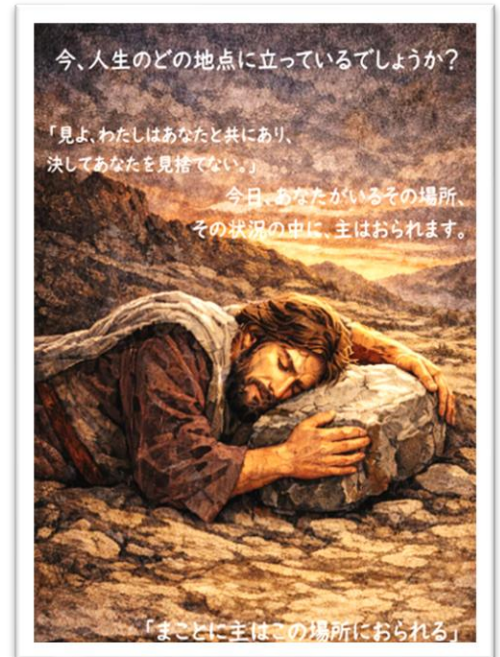
伊勢崎聖書キリスト教会は
「御言葉によって生きる。」
「主の弟子として生きる。」
「神の家族として生きる。」
ことを目指しているプロテスタント教会です。

礼拝のご案内

日曜礼拝 11:00~12:00
金曜礼拝 20:00~21:00

2月の予定表

金曜礼拝(祈り会)		日曜礼拝	
		1日	礼拝 聖餐式・ティーンズ
6日	お休み	8日	礼拝
13日	20:00~	15日	礼拝 お誕生会・ユースクラス・分かち合い
20日	20:00~	22日	礼拝 特別講義
27日	20:00~		
参考	22日ユダヤについての学び(メシアニックジュエー)講師:松本洋輔兄		



<https://ibcc.holy.jp/>

〒372-0855
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4
TEL0270-55-3177
japanese0691@gmail.com
牧師 姜 永禄 (かん よんろく)

礼拝の順序

司会：姜永祿師
説教：姜永祿師

賛美&祈り(アルニオン賛美チーム)

詩 篇 146 篇

新 聖 歌 298 (主に任せよ)

主の祈り

聖 書 創世記 創世記 28:10-22

説 教 まことに主はこの場所におられる

新 聖 歌 510(主よみもとに)

献 金

献金祈禱 説教者

祝 禱 説教者

報 告

献金は自由献金です。

※献金とは、会費・寄付金ではありません。
日々の感謝の心を神に表わすものです。

詩篇 146篇

ハレルヤ。
わがたましいよ主をほめたたえよ。私は生きて
いるかぎり主をほめたたえる。いのちのある
かぎり私の神にほめ歌を歌う。あなたがた
は君主を頼みとしてはならない。救いのない
人間の子を。霊が出て行くと人は自分の土に
帰りその日のうちに彼の計画は滅び失せる。
幸いなことよヤコブの神を助けとし
その神 主に望みを置く人。
主は天と地と海またそれらの中のすべてのもの
を造られた方。とこしえまでも真実を守り
虐げられている者のためにさばきを行い飢えて
いる者にパンを与える方。
主は捕らわれ人を解放される。
主は目の見えない者たちの目を開け
主はかがんでいる者たちを起こされる。
主は正しい者たちを愛し
主は寄留者を守りみなしごとやもめを支えら
れる。しかし悪しき者の道は主が曲げられる。
主はとこしえに統べ治められる。
シオンよあなたの神は代々に統べ治められる。
ハレルヤ。

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名を
あがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。
み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。
我らに罪を犯すものを我らが赦すごと、
我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わ
せず悪より救いいただいたまえ。国と力と栄え
とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

黙想を深める質問

1. あなたの「石の枕」について
ヤコブは故郷を離れ、硬く冷たい石を枕にして眠るとい
う、人生のどん底を経験しました。

今、あなたの人生において「石の枕」のように感じる、
厳しく、避けたい現実がありますか？

その「石(苦難)」が、神様と出会うための場所になり
得ると聞いた時、どう感じましたか？

2. 「私の神様」との出会い
ヤコブにとって神様は、かつては「祖父や父の神(人か
ら聞いた神)」でしたが、この夜に「自分の神」となり
ました。

あなたにとって、神様は「誰かの神様」や「知識として
の神様」になっていませんか？

あなたが「ああ、神様は本当に私と一緒にいてくださる
んだ」と、個人的に体験したエピソードがあれば分かち
合ってください。

3. 神様の圧倒的な約束(創世記 28:15)
神様は、嘘つきで逃亡中だったヤコブに「決してあなた
を見捨てない」と一方的な恵みの約束を与えられまし
た。

神様の言葉の中で、今のあなたに最も響く言葉(共にい
る、守る、連れ帰る、見捨てない)はどれですか？

4. 「知らない」から「ここにおられる」へ
ヤコブは目が覚めた時、「主がここにおられるのに、私
は知らなかった」と驚きました。

私たちは、苦しい時ほど「神様がいない」と感じがちで
す。後から振り返ってみて、「あの時、実は神様が共に
いてくださったんだ」と気づいた経験はありますか？

今抱えている問題を、感謝の油を注ぐ「記念碑(柱)」
に変えるために、今日からできる小さな一歩は何でしょ
うか？